



感じて動く ~ Feel & Move ~

目指す児童像：かしこさいっぱい やさしいいっぱい たくまさいっぱい

三城小学校 学校だより

R5.12.07 第14号

校長 田中康隆

応援ありがとうございました！

11月28日(火)、29日(水)と12月1日(金)、持久走記録会を実施したところ、たくさんの応援をいただきありがとうございました。本校の目指す3つの児童像のうちの1つ「たくまさいっぱい」実現のために、本校では、朝のランランタイムと持久走記録会を実施しています。子供たちは、それぞれの目標をもって健やかな体づくりに最後まで粘り強く取り組む力を付けてきました。



市内でも、健康のために歩いたり走ったりする人にいたるところで出会います。「自分の生活に合った時間帯で」、「それぞれのペースで」はありますが、皆さん目標をもって継続的に取り組んでおられるようです。

今回の取組が、将来のそのような姿につながっていくことを期待しています。

日によっては、暑かったり寒かったりもしましたが、それぞれの目標に向かって真剣に走る姿を誇らしく思いました。友達のがんばりを一生懸命に応援する姿や準備体操の元気な掛け声、見学であっても順位カードを配るなど役に立とうとする姿など、それぞれの活躍が見られるよい会となりました。

みんなが幸せな世の中に ~人権集会より~



12月5日(火)3校時、人権集会を行いました。今回は人権擁護委員協議会の方からも、お話をいただきました。また、今年の春から本校で預かって育てた人権の花ひまわりの種と手紙を、1年生が風船に乗せて飛ばしました。子供たちの思いが風船に乗って、遠い誰かのもとに届き、人々の幸せを思う気持ちの輪が広がっていくことを切に願っています。

以下、集会で子供たちに話した内容です。

毎年12月4~10日を入権週間と言います。自分も友達も一人一人が違うことを知り、それぞれの違いを大切にすることを考える一週間です。

「人権」とは、一人一人が生まれた時から持っている「自分らしく生きる」権利のことです。つまりは、みんな生まれた時から、「自分らしく生きていいですよ」とされているのです。

全部同じ人なんてどこにもいません。違うことはあたり前のことなのです。その一人一人の違いを認めたり、自分や友達のよいところを見つけたりして、それぞれが大切な存在であることを知る、大切な週間です。

では、この一週間をどのように過ごしたらよいか考えてみましょう。

- ①自分の好きなところを考えてみましょう。
- ②友達の素敵なところはどんなところを考えてみましょう。
- ③自分と友だちの違いと違ってどんなところか考えてみましょう。

得意なところや苦手なことも人それぞれですね。

みんなが一人一人優しい気持ちをもって、困っている人がいたら、それぞれの得意なことを生かして助け合えるといいですね。

また、最近よくニュースなどで「ハラスメント」という言葉を聞きます。これは、相手の嫌がることを言ったりしたりすることを言います。このことにより、深く心傷つけられている人がいるということを私たちは知っておかなければなりません。日頃から、相手の気持ちを考えた言葉や行動を心掛けることが大切です。「こんなことを言ったら相手はどう思うかな」「こんなことをしたら相手はどう思うかな」と、相手の様子をよく見て、自分の心を働かせ、自分の言葉や行動が相手にどう届いているのかを想像する力を付けていかなければなりません。これは、子供同士だけの話ではありません。大人も同じように気を付けていかなければならないことなのです。

昨日、私から先生たちにもこのことについて話をしました。この一週間、三城小学校を「温かい」「みんなの笑顔溢れる」学校にしていきっかけにしていきたいと思います。

今回から、フォントを「UD デジタル教科書体」に変えました。これはこれまでの字体より「判読性(濁点、半濁点が大きく区別しやすい)」「視認性(認識しやすい)」「可読性(読み進めやすい)」文字とされています。

より多くの方に、ストレスなく読んでいただけると嬉しく思います。